

本当にありがたく思います。子ども達から危険な目にあったなどの噂を聞かないのは、サポーターさんたちのおかげだと思います。

いつも子ども達をあたたかい目で見守っていただきありがとうございます。
近頃 あいさつが出来る子ども達が増えてきたのもサポーターさん達に見守られている安心感が大きく関係している様に思っています。

毎日の見守りは、子どもにも私達保護者にも心強いです。

**サポーターさん
いつも
ありがとう**

登下校時、何人もベストを着た人を見かけ、子どもがいる親として心から感謝しています。

良い地域で子育てができて
幸せだと思います。

子ども達の生活が、たくさんの大人の目に見守られていることは、とても安心です。

サポーターの皆さんには本当に感謝しています。雨の日も風の日も子ども達を見守ってくださって保護者として本当に感謝しています。数年前より変質者の数も随分減ったのではないのでしょうか？
これからもお身体をご自愛なさって末長くよろしくお願いします。また保護者としてもできることをやっていきたいです。

もっと保護者も積極的に登下校を見守れたらいいのですが、家事や仕事に追われなかなか実行する事ができないので申し訳なく思います。



見守りサポーター活動へのご参加・ご協力をお願いします

奈良で起きた幼女誘拐事件をきっかけに広まったサポーター活動。ですが参加していただける方が少なくなってきて一部の方々にご無理をお掛けしています。サポーター活動にご協力いただける方を募集しています。(詳細は、各町会等にお問い合わせください。)
またベストを着なくても、登下校にあわせて家の前を掃除したり・散歩や買い物に出るなど多くの大人の目が、登下校中の子どもの動きに向けられていることが犯罪抑止につながります。皆様のご協力よろしくお願いします。

保存版

金剛すこネット 10周年記念誌



金剛中学校区地域教育協議会

子どもは地域の宝もの

10 周年ありがとうございます

金剛すこネット会長 木谷 和敬

皆さんこんにちは、会長の木谷です。すこネット活動 10 周年にあたり御礼ならびにご挨拶を申し上げます。日頃よりすこネット活動に深いご理解とご協力頂きまして誠にありがとうございます。

子ども達をとりまく世の中を見渡してみますと、相変わらず先行きの見えない閉塞感漂う世情を映してか、親が子に子が親に手をかけたり、人々の密集した都会の中で孤独死が見つかったり、今までの日本では考えられない、また考えにくい暗い事件や事故を多く聞きます。何かがおかしい、日本がこわれていつている様に感じているのは私だけではないと思います。

政治や経済の不安定、利己主義や拝金主義の横行、パソコンからは、溢れんばかりの出所のはっきりとしない情報や、本物と勘違いさせるような仮想世界など、どれも現実を伴わないものに振り回されたり、原因は一つではなく多くの要因が複雑にからみ合っただったのだと思います。長い時間をかけて壊れていったものです。一発で効くワクチンや抗生物質の様な解決策はなく 長い時間をかけて直していくしかないと思っています。

ただその答えの一つとして幸いな事にこの地区には金剛すこネットがあります。10 年という時間をかけて学校・家庭・地域が力を出し合い、連携してきました。今後共、

子ども達の明るい未来のために力を合わせていく事が大切かと思えます。

まわりに門戸を開けてくれている学校・支援のために反応の早い家庭・直接自分の子どもに係わっていかなくとも快く力を貸して下さる老人や地域の方々には本当に頭が下がります。

昔ならどこにでもいた世話好きなオバさん・休みには子ども達と遊んでくれるオジさん・自分の知っている子どもでなくても悪い事をしていたら叱ってくれる怖いおじいさんなどなど、昔は人にはそれぞれ色々な役割り分担があった様に思います。

人間関係の希薄さが、いわれて久しいです。また 係わり合いが薄い方が一見案そうですが、豊かで楽しい人生を送るには、いわゆる“昔型”の生き方の方が良い様に思います。経験型体験型に勝る人生勉強はないものと確信しています。

人と人が、子ども達の未来を考えて顔をつき合わせながら知恵を出し合うこの「すこネット活動」が 10 年 20 年と言わず社会が成熟するその日まで皆で協力しあっていきたいと思います。

金剛すこネット万歳！

子どもは地域の宝もの

平成 23 年度金剛中学校長 合田 哲也

金剛すこネット（金剛中学校区地域教育協議会）の設立 10 周年おめでとうございます。これまでの関係者の方々の努力と、それを盛り上げてこられた地域の皆様に敬意を表します。おかげさまで子ども達は地域の中で、安全かつ安心してのびやかに成長してくれています。

大阪府下にはさまざまなスタイルのすこやかネットがありますが、金剛すこネットはきわめてうまくできているなど常々感じています。まず、組織がわかりやすく、それぞれの活動内容がはっきりしています。次にそれぞれに適切な人材が配置され、リーダーシップがいかに発揮されています。それにより、魅力的なイベントや充実したいろいろな活動が展開されています。資金面でも将来を見据えて計画的な執行がなされています。そして何よりも、地域が大好きで地域のために率先して動いて下さる方が、たくさんおられます。子ども達を愛し、地域全体で見守っているというあつい思いをお持ちの方が大勢いらっしゃる

います。このような環境の中で育っている子ども達は幸せだな、と思います。中学校としましても、その大きな働きに感謝しつつ、他の学校園（幼稚園・保育園・小学校）や関係諸機関と共に、しっかりとタイアップして活動していきたいと考えています。ぜひ地域の方々も気軽に各学校園に足をお運びください。

最近は幼い子どもへの虐待や高齢者の所在不明など、人と人のつながりが希薄になっていることを痛感する事件がおこっています。人とのつながりがない中で、子ども達のすこやかな成長は望めません。その意味で、すこやかネットの動きはますます意義深いものとなると思われます。地域の宝物である子ども達のため、今後「金剛すこネット」がさらに発展することを祈念し、地域・家庭・学校のつながりをさらに強固なものにするために微力ながら力をつくしたいと思います。

金剛すこネット（金剛中学校区地域教育協議会）は、金剛中学校区の学校・幼稚園 / 保育園・PTA・福祉組織・町会・自治会・老人会・こども会・NPO 法人の参加・協力を得て平成 13 年から 10 年間の活動を行ってきました。

設立総会より 10 周年を振り返って

金剛すこネット 前会長 菅野照枝

平成 13 年 12 月、伏山台小学校に於いて急遽、金剛中学校区地域教育協議会（現在の金剛すこネット）が、設立されました。当時私は、金剛中 PTA 並びに富田林市 PTA 会長を兼務させて頂いており協議会活動の内容等は、早くから耳にしておりました。しかしながらコミュニティ作りの件を数年も前から様々な場所で発言を繰り返していた私にとっては、「今さらですか？」という気持ちで納得が出来ませんでした。当時の役員も含め「出来ないです」と反論もしましたが、既に富田林市内 8 中学校区の内、4 中学校区が 12 年度に立ち上がっていた経緯もあり、仕方なく時の流れるままに設立総会を開催する運びに至りました。13 年 6 月に役員会を開き、今後どのような形で進めて行くのかを話し合い、当時の M 教頭先生に助言を頂きながら、総会に向けての動きと PTA 活動を進行させて行きました。その最中に私が 10 月末、そして 11 月末の一ヶ月もしない内に 2 度の交通事故に遭い、入院する事となってしまいました。

その後、総会日時が決定されていたので、打ち合わせは、常に病院の中で M 教頭先生や役員の方々には、大変ご苦勞をかけてしまいました。また、総会前日には、私自身も親や病院関係者に叱られながらも無理矢理退院をし総会に挑みました。皆その時は、必死に総会を成功させなければという思いでした。

そして迎えた総会当日 外はとても寒くまだ体調不良の私は、関係者の方々のきびきびした行動を見守ることしかできず、逆に氣を使わせてしまっただけの様にも記憶しています。寒い中での設立総会を嚆矢したのは、当日伏山台小学校にて青少年指導員の方々による餅つきがあり、また多くの人たちが集まるだろうと云う事から、協議会の意味やこれからの活動の主旨、目的を少しでも知って頂きたいという気持ちから、同時開催させて頂きました。

午前 9 時に私がスタッフの皆さんの前で挨拶をさせて頂き、来てくださっている方々に主旨や目的を單的に話させて頂いた後、フェスタが始まりました。反論や反発しながら設立総会へ向けての行動、大変な思いをしながら納得もいかず進めてきた当時の思い出。今思えば、M

教頭先生や当時の役員の方々、青少年指導委員の O さんを始め、関係者の方々の温なる思いがあって現在の地域教育協議会『金剛すこネット』を作り上げて下さったのだと確信しております。

教頭先生に至っては、代が変わっても協力を惜しまず、当時の役員の方々には私同様我が子が卒業されて在籍していないにも拘らず 3 年から 4 年間に渡り、お手伝いして頂き、ご苦勞ばかりかけてしまい感謝の気持ちでいっぱいです。

立ち上げ時が一番大変だったのかもしれませんが。そして 2 年目以降は、部会制を取り入れて、まずは、保護者サイドの私達が、行動すべきと動き出し、学校関係者との信頼の元、地域の方々にも参加を促し、行動を共にして頂きました。合言葉を『子どもは地域の宝もの』としてこの 10 年間、様々な事があつた中で活動の骨格が出来上がってきたのだと実感しております。次代を担う子ども達は、社会の宝であり輝く未来の創造者でもあります。

しかしながら子ども達は今、心身共にゆとりを失くし厳しい社会状況の中におかれているのです。人間は、生活の中で様々な体験や人とのふれあいを通じて、生命の尊さや他人に対する思いやり、また生きる喜びを知り、人間関係、規範意識、社会性や公共性を身につける事ができるのです。

それが私達、大人社会に求められている事であり、責任だと思っています。今の子ども達を育てることこそが、私達大人の未来が安泰だということなのです。だからこそ地域の継承者を地域で育てることのできるコミュニケーション作りを目指し、地域の方々にもより深く理解を求めるため、毎年行われているすこネットフェスタや 4 部会での様々な活動を、これから 10 年先 20 年先と進めていくためにも、保護者の皆様方をはじめ、学校関係者の皆様、地域の皆様と共に『協働の輪』を今よりも強固に出来るよう私自身も、子ども達の為に努力したいと思っています。今後とも地域教育協議会『金剛すこネット』にご尽力下さいますよう宜しくお願い致します。

地域教育協議会（すこやかネット）の概要

教育を縁に、地域の子どもどうし、子どもと大人、大人どうしが交流し合い、「顔と名前の一致する人間関係」を育む中で、0歳から15歳の子どもの連続した成長を見据えた取組みをすすめます。

平成8年度より、大阪府社会教育委員会議において家庭及び地域社会の教育力の向上に向けた社会教育の果たすべき役割について協議されました。その結果、地域社会の教育機能の地盤沈下により学校・家庭の教育機能が揺らいでいるとの認識から地域社会をあげて、子どもの健やかな育成をめざすと共に学校・家庭・地域社会の協同化をめざす(図1)学校を核とした「教育コミュニティ」づくりを取り組む事を提言しました。

そこで大阪府教育委員会では、この提言の趣旨を平成11年4月に策定した「教育改革プログラム」に反映し「教育コミュニティ」づくりの推進組織となる「すこやかネット」を各中学校区に設置する施策の取り組みを始めました。平成12年度から14年度の3年間で設置が進められ(富田林市においては12年度に第二中・第三中・喜志中・明治池中が13年度に第一中・金剛中・葛城中・藤陽中の順に設置される)現在では府内334(大阪市を除く)のすべての中学校区で「すこやかネット」が組織され活動が行われています。

すこやかネットの目指すもの

- 「個別、分離」から「協働」へ
学校・家庭・地域社会がそれぞれの教育力を個別化、分離化とした状態で機能を果たすのではなく、共に力を合わせて活動する協働の領域を開拓・開発する。
- 地域社会の共有財産である学校を核とし、地域社会の中で様々な人が継続的に子どもに関わるシステムを作り学校教育活動や地域活動に参加する事で子どもの健全な成長発達を促す。
- かつての地縁的コミュニティにかわり、または付加的に少子高齢化が進む新しい時代のコミュニティとして、地域社会の教育力の向上並びに学校・家庭・地域社会の協同化をめざすものです。

すこやかネットのいいところ

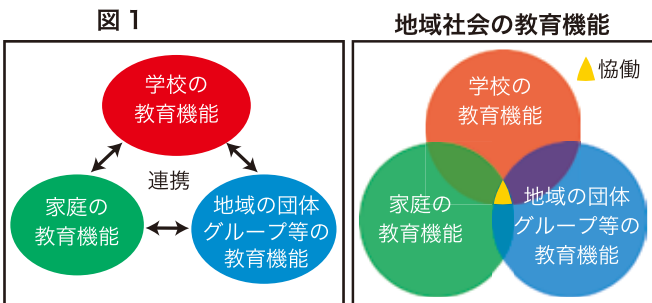
- 学校を中心に子どもと大人、大人と大人の交流がふえ、情報交換が活発になった
- 子どもの地域活動への参加が増えた
- 地域全体で子どもの成長を見守っていく気運が増えた
- 教師と保護者・地域住民との信頼関係ができた

金剛すこネット構成団体

PTA	・金剛中学校 PTA・寺池台小学校 PTA・伏山台小学校 PTA・久野喜台小学校 PTA・錦郡小学校 PTA・伏山台幼稚園 PTA
学校	・金剛中学校・寺池台小学校・伏山台小学校・久野喜台小学校・錦郡小学校
幼稚園 / 保育園	・伏山台幼稚園・金剛幼稚園・大谷幼稚園・金剛保育園・葛城保育園
福祉組織	・保護司・青少年指導員・民生児童委員・主任児童委員・スポーツ推進委員・寺池台校区福祉委員会
町会 / 自治会	・伏山町会・聖ヶ丘町会・須賀東町会・須賀西町会・須賀台町会・寺池台一丁目自治会・寺池台二丁目自治会 ・寺池台三丁目自治会・寺池台五丁目自治会・金剛アーバンコンフォート自治会・ファミリー金剛ヒルズ中央自治会 ・金剛朝日ヶ丘自治会・ガーデンハウス金剛管理組合・グリーンハイツ自治会・金剛伏山台自治会・金剛団地自治会 ・ライオンズマンション自治会・金剛第二団地住宅管理組合・金剛第三住宅管理組合・久野喜台二丁目自治会 ・ソルフェスタ金剛自治会・ハロータウン自治会
老人会	・伏山老人クラブ・須賀西老人会・寺池松寿会・久野喜台老人クラブ・老人クラブ明朗会・寺池台三丁目百寿会 ・金剛第二住宅老人クラブ・金剛第三住宅グリーンクラブ・寺池南・寺池北
こども会	・各地域町会子ども会
NPO 法人	・ふらっとスペース金剛・ネットワークすこやか

「すこやかネット」の主な機能

- ①学校、家庭、地域社会の連絡調整
- ②情報誌の発行や子ども、保護者の体験活動の充実などの地域教育活動の活性化
- ③職場体験学習への協力等、学校教育活動への支援であり、この取り組みにおいては学校が中心となり、学校から社会教育関係機関等をはじめ、PTA・青少年育成関係団体や町会・自治会など地域の様々な関係者に働きかけることに、地域の実情に応じた多様な活動が実施されてきています。



すこやかネットのもっと伸ばしたいところ

- 子どもを見守る大人のネットワークを拡大していく
- 子どもの主体的な活動を促進していく
- 子育て支援のネットワークや子どものためのセーフティネットワークづくりをすすめる
- 地域に開かれた保育所・幼稚園・小中学校づくりをすすめる

すこネットアンケート集計

2010年9月実施

金剛中学校	63
伏山台小学校	54
寺池台小学校	88

■ 無記入

■金剛すこネットの活動の目的・主旨をご存知ですか？

はい 37%	いいえ 61%	
-----------	------------	--

■すこネットフェスタに参加したことはありますか？

毎年楽しみにしている 13%	数回参加した 43%	行った事がない 39%	
-------------------	---------------	----------------	--

■地域での知り合いが増えた

そう思う 28%	思わない 20%	わからない 39%	
-------------	-------------	--------------	--

■地域の情報を得やすくなった

そう思う 26%	思わない 19%	わからない 47%	
-------------	-------------	--------------	--

■保護者間での交流が増えた

そう思う 29%	思わない 19%	わからない 40%	
-------------	-------------	--------------	--

■学校のことがよくわかるようになった

そう思う 22%	思わない 20%	わからない 45%	
-------------	-------------	--------------	--

■学校の先生との交流が増えた

そう思う 13%	思わない 27%	わからない 48%	
-------------	-------------	--------------	--

■子育てについて学習したり、相談する機会が増えた

そう思う 14%	思わない 28%	わからない 47%	
-------------	-------------	--------------	--

■学校に行きやすくなった

そう思う 23%	思わない 22%	わからない 43%	
-------------	-------------	--------------	--

■いい地域・校区だと思う

そう思う 69%	思わない 20%	
-------------	-------------	--

10周年記念誌発行を目的として保護者に対してアンケートをお願いしました。

前年度の2009年が、新型インフルエンザのため、すこネットフェスタが中止になった背景もあり、アンケートの回収率が、低かったように思います。

皆様からいただいたご意見

- 都合がつく年は参加しています。(5~6回)役員として参加・手伝いをした事もありますが交流、情報という面では本人次第だと思います。その気がなければただのお祭り感覚ですね。あと、役員だから仕方なくとか。各部会も毎年同じ活動のばかりで、そろそろ違うものもあって良いかなと思います。
- (お知らせをみるとまたか・・・と思います)。会計報告ってないんですか？
- いつの日か協力させていただけるようにしたいと思います。
- 私自身もどんな形であれ地域の方々お返ししたいと思っています。ありがとうございます。
- フェスタの日程を定例化してほしい。

どの設問に対しても「わからない」が、半数を示している事に対し保護者に活動がうまく伝わっていない反省を感じます。最後の設問である「いい地域・校区だと思う」の「そう思う」が、非常に高い数値を示したのが、すこやかネットの活動の影響だと思っています。

- PTAの役員等をしていないと活動が分かりづらいので誰もが積極的に参加できる活動を考えてほしい。
- 地域出身のスポーツ選手を招いて、子ども達のスポーツ教室などがあれば良いと思います。
- いくつかの学校やPTA自治体などが、集まって活動しているのがすごいと思います。地域としての一体を考えてつながりを持たせている事は、すごく素敵なことだと思います。
- 父親がもっと参加できる企画があればいいなと思います。チームスポーツなどで父親同士で作戦をたてるなどコミュニケーションのとれる企画があればと思います。そして父親が子育てに関わっていただけるといいなと思います。

すこネット広報誌（年間3~4号発行）



金剛すこネットの年間活動

6月 金剛すこネット総会

4月からの新年度が始まり、各校のPTA、町会、団体の役員が決定する5月末頃に、総会を開きます。

昨年の活動を振り返り、新年度の活動予定、予算を確認します。本年度担当する部会(下記参照)へ分かれ、部長・副部長を決定し、今年度の活動計画を立てます。



7月 地区巡視

夏休み早々に、学校職員・PTA役員を中心に夜集まり、校区の巡視を行います。また、須賀・伏山の夏祭りにも巡視を行います。

子育て支援部



8月 金剛団地盆踊り巡視

例年行われる金剛団地盆踊りの巡視。校区が重なる事から、葛城中学校区すこやかネットと合同で行います。学校職員、PTA役員、青少年指導員などが集まり、21時過ぎまで会場の巡視を行います。

子育て支援部



9月 スポーツフェア

例年9月に寺池台小学校か伏山台小学校で(スポーツ推進委員)の指導のもとニュースポーツを楽しみます。

スポーツ部会



10月 全体会

11月に行われるフェスタに向けての確認を行います。

11月 すこネットフェスタ

学校・保護者・PTA・子ども達・地域の交流とすこネット活動の告知のために行われている市民まつり形式のイベントです。毎年11月の週末に、金剛中学校・寺池台小学校・伏山台小学校3校の順番で行われています。

午前中は、子ども達や団体の発表を体育館で舞台発表を行っています。午後からは、各PTA・団体が模擬店やバザーを出店してくれます。

またグラウンド中央では、新しいスポーツの紹介を行っています。



12月 パソコン教室(年賀状づくり)

文化部

Microsoft Wordを利用してパソコンで年賀状を作ります。干支のイラストや年頭のあいさつをレイアウトして自宅住所、名前を打ち込みプリントアウト。できたデーターは、各自で持ち帰ってもらうこともできます。



12月 親子クッキング

子育て支援部

地域の栄養士(管理栄養士)を招き、学校の調理室を使い親子でクッキングを楽しみます。12月は、クリスマスパーティー用のお料理を。自分で作る料理だとすききらいも忘れて調理後、みんなで試食します。

3月にも進級・進学のお祝い料理をみんなで作ります。



2月 全体会

2月の末頃に、3回目の全体会を開き1年間の活動を締めくくります。

子育て支援部会

- 「クリーン作戦」「校区巡視・盆踊り巡視」を各学校園PTAに依頼
- 「親子クッキング」を開催(年2回)
- 「こども見守りの日」の実施(毎月15日)
- すこネットフェスタ(舞台担当)

文化部

- 親子パソコン教室一年賀状づくり
- すこネットフェスタ(全体進行)

スポーツ部会

- 毎年9月に「スポーツフェア」を開催
- すこネットフェスタ(スポーツ会場運営)

広報部会

- 広報誌、金剛公民館まつりに壁新聞を出展、フェスタポスター等の発行。
- フェスタでは、写真撮影・ビデオ撮影を行ない、DVDに編集。
- 地元無農薬栽培の野菜の即売会

すこやかネット
4つの部会



2010 金剛すこネットフェスタ

2010年11月13日(土) 寺池台小学校



●金剛すこネット木谷会長

○金剛中学校和太鼓部「こぞせ」

●石田晶子バトンスタジオ「バトントワリング」

○伏山台幼稚園園児「うたとどおり」

●寺池台小学校4年生児童「寺小ソーラン」

●伏山青年団「地車囃子」

●伏山台小学校児童「ミルクムナリ」

●金剛中学校ブラスバンド部

●伏山台小学校おやじの会「うどん」

●久野喜台小学校PTA「たごせん」

●金剛中学校PTA「焼きそば」

●伏山台小学校PTA「ハッシュドポテト」

●寺池台小学校PTA「フランクフルト」

○すこネット広報部「豆菓子」

○伏山台小学校PTA「バザー」

●青少年指導委員「バレーシアート」

●伏山台校区福祉委員会「コービー」

●すこネット広報部「豆菓子」

●寺池台小学校PTA「バザー」

●スポーツ部会

●フライングディスク ターゲッターナイン

金剛中学校



住 所：寺池台 1 丁目 1 番 1 号
T E L：0721-29-1404
校 区：寺池台、伏山、須賀、久野喜台
児 童 数：512 名
クラス数：1 年 5 クラス・2 年 4 クラス
3 年 6 クラス・ひまわり 2 クラス
職 員 数：37 名
創 立：昭和 42 年
校 長：合田 哲也(平成 23 年度)
教育目標：★心身ともに健康で、豊かな感性を持
(平成 23 年度)ち、自ら学び、判断
し、自主的に行動できる生徒の育成
★お互いに個性を認め、仲間とともに
伸びる、表現力豊かな生徒の育成自
分に自信を持ち、人に優しく、自ら
考えて行動し共に伸びゆく

金剛中学校は、昭和 42 年創設の歴史ある学校です。卒業生には歌手の大西ゆかりさんや全日本サッカー代表キャプテンの宮本選手などがいます。錦織公園など自然豊かな地域を校区に持ち、明るく元気な生徒たちです。また、クラブが活発に行われ、様々な大会で好成績を残しています。

5 月には新 1、2 年生は宿泊学習で和歌山や奈良に行き、集団としての生活の仕方やともだちとつながることの大切さを

学びます。また、3 年生は長崎に修学旅行に行き、平和の大切さを学びます。2 学期になると、全校あげでの取り組みとして体育祭や芸術祭に取り組みます。芸術祭は合唱コンクールの総称で、この時クラス一丸となって取り組むことで、団結を深めます。

金剛中では、子どものつながりを大切にした実践を通して、「生きる力」や「真の学力の向上」を目指しています。

錦郡小学校



住 所：錦織南 1 丁目 8 番 1 号
T E L：0721-24-3106
校 区：錦織・須賀 1～2 丁目
児 童 数：378 名
クラス数：1・2・3・4・5・6 年各 2 クラス
さくら 2 クラス
職 員 数：26 名
創 立：明治 5 年
校 長：松村 弘治(平成 23 年度)
教育目標：自分も人も大切にし、自ら学び進んで
取り組み、正しく判断できる元気な子
を育成する

近鉄滝谷不動駅から徒歩 5 分の場所に位置し、創立 130 年を越える歴史をもつ小学校です。

P T A 活動も熱心に取り組んでいただき、さらに、多くの地域の皆さんにも「錦小地域教育協議会」として、日常の子どもたちの登下校時の見守り活動や、各種行事に協力していただいています。

校区には錦織公園があり四季折々の風情が十分に感じ取れる自然豊かな学校です。また、大阪大谷大学がすぐ近くにあり、学生ボランティアが毎年 1 0 名以上本校で活躍してくれています。さらに、教職を目指す学生さんが大学の先生の引率のもと多数来校し、実際の小学校の様子を参観されています。加えて、本校の職員研修に大学の先生を講師として招い

て学ぶなど、小学校と大学の連携を深めています。

さて、本校には、「こども商人」という、地域の方々や保護者の協力を受けつつ行う大きな体験学習があります。毎年 10 月 28 日の滝谷不動尊の大祭の日に、滝谷不動駅前で 5 年生とさくら学級が複数のお店を出し、他の学年はお客さんになり商業体験をします。駅前なので、お不動さんへ参詣する方や近所の方々、さらに近年は、他の小学校のお友だちもお客さんとして来店して下さいます。おかけさまで例年、保護者の方や地域の方にご協力いただいて仕入れた商品が売り切れるお店がほとんどです。

今後もあり地域とともに歩む錦郡小学校でありたいと思います。

久野喜台小学校



住 所：富田林市久野喜台 1 丁目 16-1
T E L：0721-29-1450
校 区：久野喜台 1・2 丁目 青葉丘
加太 新青葉 五軒家
児 童 数：357 名
クラス数：1～5 年各 2 クラス 6 年 3 クラス
支援 3 クラス
職 員 数：25 名
創 立：昭和 44 年
校 長：宮下 馨(平成 23 年度)
教育目標：人間尊重の精神を基盤とし「自ら主体的
に学び、健康で明るく自分の思いを生き
生きと表現する。」子どもを育成する

校章の由来

「クノキ」の文字を囲んでいるのは、山(金剛山)と谷。谷は昔この辺りが、九の木谷と呼ばれたことに由来する。【雄々しい金剛山のように、自らを鍛え、伸び伸びした明るい子どもに成長して欲しい。そういう願いを込めてデザインされたものである。

学校行事

【子ども祭り】

●児童会主催による大きなイベントです。幼稚園・地域の方々・保護者を招待し、3 年生以上が出店をします。

【夏休み作品展】

●夏休みに製作した自由研究・絵画・工作など力作が、3 日間展示されます。

【大縄大会】

●各クラスが大縄を使って何回跳ぶ事ができるか記録に挑戦します。

【縦割り交流】

●異年齢の子どもたちが、触れ合うことにより、相手を思いやる集団づくりを行っています。

【地域との交流】

●一年生は、七夕まつりや昔遊びで、五年生は、田植えや稲刈りでご指導を受けています。

寺池台小学校



住 所：寺池台 4 丁目 3 番 1 号
T E L：0721-29-1477
校 区：寺池台一丁目の一部、二・三・四丁目
廿山二丁目の一部、金剛伏山台、金剛錦織台
児 童 数：494 名(H23.10.1 現在)
クラス数：1・2・4 年各 2 クラス
3・5・6 年各 3 クラス
なかよし 4 クラス
職 員 数：36 名
創 立：昭和 4 5 年
校 長：齋藤 規雄(平成 23 年度)
教育目標：自主・協調

金剛地区の住宅開発にともない開校した本校は、42 年の月日を重ねています。校庭の木々は寺池を囲む森と一体となって緑深い環境をつくり出しています。

開校以来、保護者はもちろん地域の皆様に愛されて育った学舎では、いつも子どもたちの歓声が響いています。

学校では、縦割り班活動を学級や学年をこえた子どもたちの交流・仲間づくりの核とし、群あそびや運動会の群競技に取り組んでいます。異年齢集団の良さを生かし、思いやりや感謝の気持ちをもった良好な関係により、豊かな心の育ちにつながることを期待しています。

本校の児童会活動の最大の行事である「寺小まつり」は、3 年生から 6 年生が工夫をこらし、作る・見せる・遊ぶのコーナーを演出するとともに、地域の福祉委員さんにもコーナーを担当していただき、熱気あふれる取り組みになっています。加えて、伏山台幼稚園の園児をご招待し、楽しい幼・小連携を展開しています。

これからも次代を担う子どもたちを学校・家庭・地域が一体となって育ててまいります

金剛中学校区学校紹介

伏山台小学校



住 所：伏山二丁目1番1号
T E L：0721-28-4106
校 区：伏山1～3丁目、須賀2・3丁目
寺池台1・3・5丁目
児 童 数：267名
クラス数：1・2・5・6年各2クラス
3・4年1クラス、ひまわり3クラス
職 員 数：24名
創 立：昭和52年
校 長：山元 直美(平成23年度)
教育目標：「自主・自律・協力を身につけた
人間性豊かな子どもを育てる」

本校は創立35年目で、金剛地区では最も新しい学校です。グラウンドも広く、自然に恵まれています。高台に位置しており、学校からは、狭山方面が一望できます。(校舎の3階・4階からは大阪市内を望むこともできます。)夕日の美しさは格別です。また、伏山神社の桜は見事で一見の価値ありだと思います。

保護者・教員・スクールサポーターをはじめとする地域の方々に見守られて子どもたちは明るくのびのびと育っています。

【自慢の行事】

毎年1月～2月に「なわとび月間」を設定して、全校でな

わとびに取り組みます。有段者を目指して その時期は、なわとび一色になります。20年以上も続いている本校の伝統行事です。高学年になると、あや二重跳び・側振二重跳びなどびっくりするような跳び方をしています。これからも取り組み続けていきたいと思っています。また、毎年11月には、保護者や地域の方を招待して全校音楽会開催しています。1年生から6年生まで全員が合唱・合奏を披露します。子どもたちの成長が実感できる行事です。

平成23年には、中庭に芝生をはりました。子ども達が楽しく走り回っています。

伏山台幼稚園



住 所：伏山2丁目1番2号
T E L：0721-28-4107
園 児 数：52名
クラス数：4歳児1クラス、5歳児1クラス
職 員 数：5名
創 立：昭和52年
園 長：内田 一(平成23年度)
園長代理：辻野 雅子
教育目標：心豊かにたくましく生きるこどもの
育成

園児数は少ないですが、アットホームで、一人ひとり個性豊かにのびのびと毎日を楽しんでいます。子ども同士のかわりを大切に日々の遊びを充実したものになるよう、教師と子どもと共に遊びを創り上げています。地域の方々に温かく、支えられている地域の幼稚園です。

【自慢の行事】

●森遊び

地域の方のご厚意でお借りしている森遊びは、この園ならではの自慢です。秋になるとこの森の中で一日中、先生や友達

と遊びを楽しみます。木の実や落ち葉、土粘土などで創造豊かな遊びが展開されています。金剛校区の幼稚園や保育園、小学校1年生と森での交流があります。

●こすもすの集い(敬老の日になんで)

普段、幼稚園ではなかなか遊べないおじいちゃん、おばあちゃんにハガキにかきます。元気になっているかな？幼稚園へ遊びに来てほしいなという思いを込めて、近くのポストへ投函します。歌を歌ったり、運動会で活動した取り組みを見てもらったり、触れ合い遊びを楽しんでもらったりする集いです。

金剛中学校区私立幼稚園・保育園紹介

大谷幼稚園



住 所：富田林市寺池台2-11-14
T E L：0721-29-3044
校 区：寺池台、及び富田林市、大阪狭山市一辺
園 児 数：138名
クラス数：年少児・年中児・年長児各2クラス
職 員 数：19名
創 立：昭和44年
園 長：齊藤 正義(平成23年度)
教育目標：1宗教的情操 2創造性の育成
3鯉の教育(向上心の体得)

学校法人大谷学園は大学から幼稚園まで有し、創設以来102年の歴史を数えます。その中で本園は、41年の足跡を残し、卒園児も5000名を悠に超えました。

大谷学園の建学の理念である「報恩感謝」を基に、感謝と他

者への思いやりの心を育む人格形成の場として、ひとりひとりの子どもを大切に、より細やかな教育を施しています。

春のはなまつり、秋の報恩講と、日々の礼拝を通して、身仏の前で自然に可愛い手を合わせ得る心を育てます。

大阪芸術大学附属金剛幼稚園



住 所：富田林市久野喜台2-6-1
T E L：0721-29-1402
園 児 数：167名 (平成23年10月現在)
クラス数：9クラス
職 員 数：15名
創 立：昭和43年
園 長：渡邊 純(平成23年度)
教育目標：「いきるちから」と「おもいやりのこころ」

大阪芸術大学附属金剛幼稚園が幼児のこころの育て欲しいと願っていることは、自分の力を信じて、何にでも挑戦してみようと積極性や意欲です。そのためには、豊かな環境を提供することが園の役割であると考えています。豊かな環

境とは、充実した設備と情緒豊かな保育者との人間関係です。

当幼稚園では、幼児期に必要な体験ができるカリキュラムのもとで豊かな育ちにつながる保育を行なっています。

葛城保育園



施設名称：社会福祉法人 徳風会 葛城保育園
所 在 地：〒584-0074 富田林市久野喜台2丁目15の9
電 話：0721-29-9211
施 設 長：中川 徳子(平成23年度)
創 立：昭和48年5月
受入年齢：産休明け～小学校就学未満
入所定員：150名
開所時間：平 日 午前7時00分～午後7時00分
土曜日 午前7時00分～午後6時00分
保育理念：●豊かな愛情を持って子どもに接し生きる力を育てる。
●「地域の子育て」の支援を積極的に行っていく。
●家庭と協力し、安心して子育てができる環境を目指す。

開園時に植樹したケヤキの木が37年経過して、地域にしっかりと根付いて枝を張りやさしい木漏れ日にして、木の周りを走り回っている園児達を包んでいます。一人ひとりの子どもが心身共に健康・安全で、情緒の安定した生活ができて健やかに育つことを目標にしています。

地域の方には、園庭開放・夏まつり・スマイル広場・運動会・人形劇・リトミック教室等にも参加していただいています。大阪府認定の育児相談員や大阪府知事認定の地域貢献支援員もいます。悩みごとが生じた時は、気軽に声をかけてください。